

【1】農業とは？

農業は社会基盤産業であり、食料生産のみならず、雇用・健康・教育といった社会的に大きな課題に対し、解決策を提供することができる力がある唯一の産業である。我々は、一つの方程式を見出した。

農業×ANY=HAPPY

農業は基盤、どんな産業や事業とも融合することができ、しかも結果として、社会還元性が高いことが魅力である。国として農業をGDPや自給率で捉えるのではなく、いかに活用できるかが重要であると考えている。

提案① 国力向上のため学校給食の質向上と無料化

【効果】

税で支えられる人⇒納税者へ

未就職者

福祉施設

高齢者

福利厚生

復帰前

雇用

- ・障害者/高齢者の受け皿
- ・社会復帰前リハビリ

【効果】

- ・医療費削減
- ・生産性向上
- ・農村都市交流促進

地域医療

外食・惣菜

健康

- ・農作業によるうつ病/ねたきり等病気の予防
- ・食を通じた成人病予防

【効果】

- ・リーダー教育
- ・知識→知恵の訓練

小学校

幼・保育

教育

- ・食育
- ・知恵の体験強化
(授業に農業を大きく取り入れ)

農業＝社会基盤

【2】次世代農業への提案

提案① お金を産み出していない農地へ課税増

雑草を刈るだけで農地となっていたり、宅地などの資産価値を査定したような高額な農地賃貸料を提示するなど、流通しない要因は多々ある。そこで、生産・販売に寄与していない農地に対する固定資産税を増額する、もしくは、農地の査定方法を農業収入見込み額から算出するような方法を検討すべき。

提案② JAの金融共催業務と営農業務の分離

やる気のある職員が金融や共催を担当していて、営農部門(農家指導や営業)に人がいない。農協としての本来の役割を果たしていない。

提案③ 資源の保持・保全強化

農業＝種苗の保護・保持強化、種苗会社が開発するF1種だけでなく、農家が在来品種を守り育てることが安定生産につながり、強いては農家を強くする。林業＝林地管理と材の活用、水＝海水環境・漁獲高管理も急務。

【3】地方市町村、生き残り下剋上時代の提案

生き残るには、**職(今)と教育(将来)**が肝。政令指定都市でも、限界集落でもベンチャースピリッツをもって人口減に取り組みない限り消滅する危機感をもつ必要がある。その際重要なのが、**市町村の組長と左右の腕となる人の力量**。現在の市役所やJAは、地域のコネで入ることが多く、ベンチャーとして市民を引っ張るバイタリティがあるかどうか不明。

提案① 経営経験者などを社外取締役のような立場設立や民間企業のエースを1～2年、行政へ出向相互に立場を理解し、刺激となり、地域事業創造に協力し合えと考える。

提案② 都市・地方間格差のない教育

納得のできる教育があれば、子育て世帯は場所を選ばない可能性が高い。

提案③ 農業×ANYで事業創造

すでにあるハードや地域の魅力(＝地方は農業であることが多い)を活用し、地域産業は十分に創造できる。

(例) 農業×観光 成功事例: 由布院

観光目的の1位は食。地産の食材をふんだんに地域の外食や旅館等がご当地の調理方法で使用。

【事業1】 農業×ANY

青果を需要に合った形で販売するコーディネートや、青果売場の立ち上げ・運営、工業者が農業事業開始する際の事業構築、行政の農業事業のサポート等行う。近い将来、人手不足解消のため海外からの安い人材依存から農業用ロボットやオートメーション機器の開発も手掛けたい。

【事業2】 青果流通リエンジニアリング事業＝農業者が主体の攻める農協を構築する！

～生産-流通-評価までをつなげるシステム VPUnite(ベジプロユナイト)構築～

■ 需給のミスマッチ解消



本来農協がやるべき業務だが、既に機能が果たせない状態となっている。そこで、ヤル気のある生産者の中小ロットを、特に外食産業や中食産業へつなげている。

最大の課題は、**物流**

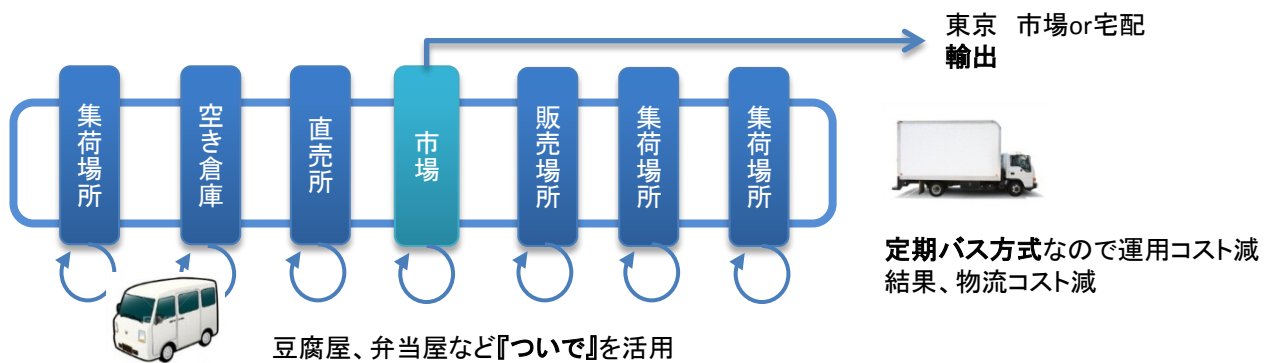


物流コスト増で生産者の手取り減

そこで、以下のような物流再構築を日通やその他の運送業者と検討し始めている。

■ 中小ロットでのリーズナブルな物流

ここの解決無くして、**地産地消も輸出も地産来消の実現はない！**
地域での最適な物流再構築 → The Japan 青果コールドチェーン を世界へ



定期バス方式なので運用コスト減
結果、物流コスト減

- 課題①：空いているトラックは多くも、まず、**運送業免許**が取得が必要。
- 課題②：ベンチャーである1企業が行っているため取組にスピードが出ない。
解決に向け、↓

■ 攻めの農業プラットフォーム構築へ！準備開始

【攻めの生産者：小規模多数の出資】
メリット：安定売り先確保
商品企画(6次産業化)への可能性大

小売・惣菜・輸出事業者
物流会社
メリット：攻めの生産者囲い込みによる安定調達

当社・IT企業
メリット：システム利用促進